

～ 高知県のシンボル ～

pdf形式のファイルは[こちら](#)

県章



土佐の「とさ」を印象化したもので、なかに高知の「コ」の字を構成し、たてのけん先は向上を、円は平和と協力をあらわしています。（昭和28年4月15日制定）

県の花「ヤマモモ」



温暖な海岸近くの山地に、自生する常緑高木で、特に高知県は自生する条件が最適です。暗紅色で甘酸

っぱく、たいへんおいしい実がなります。県民投票の後、選定委員会（牧野富太郎委員長）で決定されました。（昭和29年3月22日制定）

室戸海洋深層水のブランドマーク



紺色は深層の海流を、明るいブルーは表層の海流を示し、2つのリングが地球をめぐる様子を表現しています。深層水のグローバル性を想起させるマークです（平成12年2月1日制定）

県の魚「カツオ」



「カツオの一本釣り」といえば高知。さしみやタタキで日常の食卓にあがり、

また、かつお節や酒盗（内臓の塩辛）にも加工されます。漢字で松魚とも書き、めでたい魚の代表格です。（昭和63年6月21日制定）

イメージキャラクター「くろしおくん」



豊かな自然環境の象徴である黒潮をモチーフに、未来に向かって力強く前進する県の姿を表現しています。「よさこい高知国体（2002年に開催）」のマスコットでもあります。（平成9年12月19日制定）

県の木「ヤナセスギ」



安芸郡馬路村魚梁瀬（ヤナセ）を中心に自生するスギで、樹高50メートルに達する大木が群れをなし、壮観な美林を形成しています。（昭和41年9月12日制定）

県の鳥「ヤイロチョウ」



名のとおり
羽毛の色彩が
8色で、日本
に渡来する鳥
の中では一番
美しいと言わ
れています。
5月から秋頃
まで、県西部
の人里離れた
広葉樹林の深
山に生息して
います。(昭
和39年5月
10日制定)